

# エコけん ニュース

No. 52 2003. 11

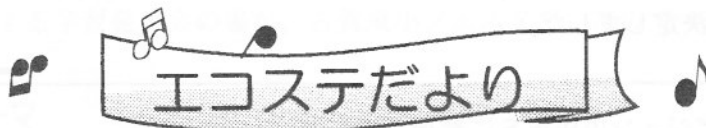
連絡先 NPO法人エコけん事務局

☎ 090-6635-9472 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco.sta@eagle.ocn.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/



エコロの森では、一般的な清掃工場・再生展示棟見学の他に、ミニ教室を体験できます。内容は、「ごみ減量」「グリーンコンシューマー」「省エネ」など、来館者のご希望をうかがいながら決めます。

## ミニ教室 (学校バージョン)



10月28・29日、エコロの森ステーション(エコステ)に古賀東中1年生(約160名)が、家庭科の授業の一環として来館しました。

ごみ減量や地球温暖化問題などの環境講座を1時間。お手軽環境保全活動やボランティア活動を体験する「エコロビンゴ」を1時間。短時間ながら内容の濃い教室となりました。

### エコロビンゴってなあに?

複合品の分別	スプナー体験	分解	Q1 [ ]	分別Box体験
Q2 [ ]	ダンボール又は新聞づくり	省エネ実験	ガーデン	プチ工作
洗濯剤出し	本日のちびドラ	★	エコロの仲間たち	牛乳パックの糊づけ
カラス板屋	紙箱と牛乳パック開き	Q3 [ ]	ウエス布づくり	発電実験
ホリクラフト	Q4 [ ]	ウォールアート	ナイスター体験	ペットボトルの分別

エコステならではの、実践体験ゲーム。ごみ分別や素材化などの実践をするたびに、その欄をチェックします。縦・横・斜めにチェックが並べば、ビンゴ! ポイント1個をゲットします。

意外なほど、生徒は夢中で取り組んでいました。

エコロビンゴは、いつでもできます。

事務所へおたずね下さい。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 古賀清掃工場 エコロの森ステーション ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

TEL 092-942-1530 内線 (701)

FAX 092-942-1532

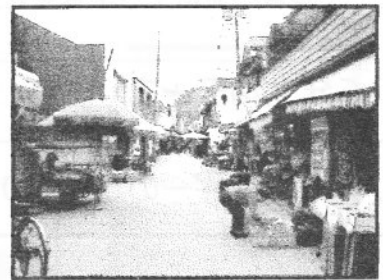
# 地産地消をたずねて、30里...



11月初旬に佐賀県唐津のみなとん里という農産物直売所を訪れました。

「みなとん里」は地元農民作家山下惣一さんの呼びかけで始まり、今年で13年になる直売所です。

もともとみかんの産地であった湊地区ですが国内消費の落ち込み、オレンジ輸入自由化で将来が見通せない暗い時期に山下さんが村の仲間に直売所づくりをもちかけました。市場に出す野菜ではなく自分のためにつくったものに、自分で値をつけて、地場産を求めている消費者に売る、という小さな循環ができれば農家の所得も少しは上がり、地元の消費者も喜ぶだろうと直売所が立ち上げられたのだそうです。



懐かしい気がする唐津の町並み↑

今では加工部、(原料・運搬を)支援する男たちの会も発足し生産者が元気になり、定年婦農者が増え、社会参加することで村人たちに生き甲斐が戻ってきました。

「みなとん里」のモットーは消費者のニーズに合わせるのではなく(それはスーパーの仕事)生産者のニーズを貫き、土産物も置かない。大切なのは、農産物を真ん中にした地域の循環を生み出すということ。



最近よく見る直売所ですが、その先駆け。  
生産者による運営が、土台です。

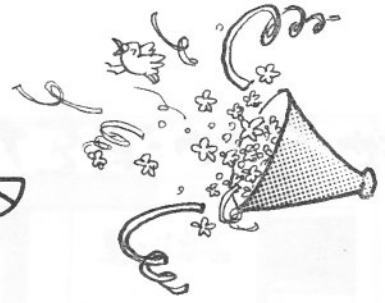
こぢんまりとした店の中には多種多様な野菜をはじめ、いりこなどの海産物、手作りの加工品、お花等が 生産者の名札付きでずらりと並べられています。お店の方に「みなとん里」の特長をお尋ねしたところ農家の人たちが自分たちで立ち上げた直売所のはしりであり、当初より地元の保育園、数年後には小中学校に野菜を納めていることをあげられました。また、顧客の7割以上が近所の人で 休日の早朝は車の列ができるほどの繁盛ぶりだそうです。

ひへい  
疲弊していた村を再生させた「みなとん里」。小さな構えの店に地元で生きる人々の静かな熱い思いと、決して平坦ではなかったであろう13年の重みが感じられました。

※ 一部『暮らしの手帖：秋号』を参考にさせていただきました。

## 5年生の発信

# 古賀東小フェスタ

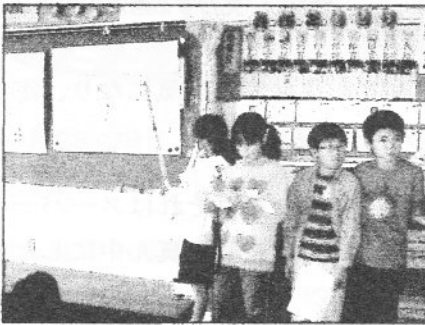


11月8日（土）、古賀東小フェスタに行ってきました。

古賀東小は（財）省エネルギーセンターの省エネ学習推進モデル校です。その中心を担っているのは5年生71名。総合の時間に、様々な学習を積み上げ、その一部を校内へ、そして地域へ発信する学習発表会の場が、古賀東小フェスタだったので。

### 5年生のテーマ

人とエネルギーのかかわりや、省エネの大切さについての学びを発信しよう



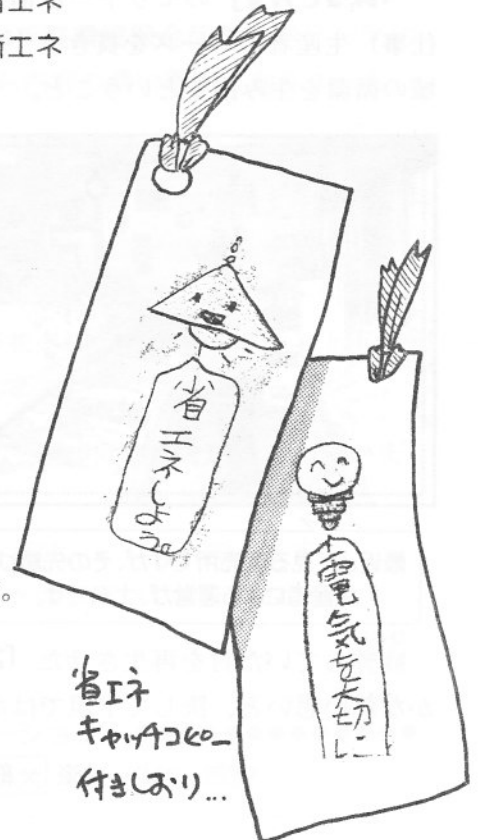
#### 内容

- ❖ 電気の作られ方
- ❖ 色々な発電所
- ❖ 電気が家に届くまで
- ❖ 地球温暖化
- ❖ 省エネ
- ❖ 新エネ

本番前の中間発表に、エコけんは、アドバイザーとして呼んで頂いていました。本番の発表を聞きながら、その後子ども達はどれほど頑張ったことだろう、と目頭が熱くなりました。子ども達の、思いのこもった態度と内容、そしてその頑張りに、見ている私がこころにエネルギーをもらいました。

帰りには、廊下でクイズに答え、子ども達の作った省エネキャッチコピー付きしおりをもらいました。

子ども達の発信が、じわ〜っと広がるといいなと思います。



未来を作る子どもたちにエール!



## ワークショップ通信

### 第5回 企画書発表会

ワークショップ最終回は、自分で作った企画書のプレゼンテーションでした。事業・収支スケジュールまで立てた「実現可能なかたち」が見える企画です。その中から、投票でナンバーワンを決定しました。

省エネビジョン市民WSに参加しました。

当初は右も左もわからない市民が、地球温暖化防止という巨大な目標の実現に向けて、わずか5回のWSで各自が企画書を提出し全員の前で発表するまでに成長したのですから、進行役を務められた清水代表を始めエコけんのスタッフの皆様の事前の入念な計画と周到な準備に頭が下がります。



表彰式の様子↑「おめでとうございますあ〜」

最終日に提出された20の企画書は、どれも力作ぞろいでした。

その中で、各地域公民館の各種講座や学級等の年間スケジュールの中に1回は「環境問題」をテーマに取り上げることを補助金支給要件の一つとして義務付けるという私の企画が、既存の生涯学習システムを活用しながら幅広い市民を継続的に啓発し意識変革につなげようとする点が評価されたのか、1位に選ばれたのは、思いもかけないことでした。

今回に限らず、ワークショップという新しい手法で市民が力をつけていき第3次マスタープランに謳われている「市民と行政が一体となった新しい時代の市民参画都市」が具現化していくのは嬉しいことです。

納富 育代

### ～事務局より～

- ❖ 古賀東中の1年生がエコステに来館した時に作った作品が、『第2回古賀市環境シンポジウム』に展示されます。  
(11月30日 10:00～ :中央公民館)